



特定医療法人社団

鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス
<http://www.goodream.co.jp/hoyukai/>

第35号

発行:2009年3月15日
発行責任者:
特定医療法人社団 鵬友会
事務局長 池島 守

こんな事務部長をめざしています。

新中川病院 事務部長 松田 隆



小児科医不足、妊産婦のたらいまわし、地方病院の廃院など昨年は毎日のようにマスコミに取り上げられ国民の関心が高い医療業界。「医療崩壊」「介護難民」など悲しい言葉も生まれました。国の医療費抑制政策をうけ、今、日本中の病院は生き残りをかけた苦渋の選択に迫られています。他病院との差別化、効率のよい経営など公益性の強いこの業界では(医療法人は、利潤の追求をしてはいけない)今まであまり考えられなかった一般企業並みの経営努力が、求められています。

私は18年前ある病院の総務職員として医療に携わり初めまし

当時の事務長の仕事といえば、「切れた蛍光灯の交換」と「伝票の印鑑押し」に1日の大半を費やしていたように思われました。むろんパソコンなどもなく何か月に1回の行政が主催する事務長会が唯一の情報源でした。しかし私たち一般職に流れてくる情報は、ほんの一部でした。リスクマネジメントという言葉も一般的でなく、ましてやチーム医療・個人情報保護法・カルテ開示・セカンドオピニオンなど発想もしていませんでした。

時代の流れは速く今どきこの様な病院は、少なくなっただけでしょう。医療情報も厚労省のホームページには、通知や通達は、翌日にアップされ部下のほうが先に情報を把握している事も珍しくない時代です。情報を多く持つことで威厳を保つ時代は、終わりました。これからの事務部長は、その情報をいかに自院で有効に使うのか？またタイミングは？などデジタル処理されたものを「人の心をいれて」アナログに変換する作業の要ではないかと考えます。事務部長の仕事は、パソコンの画面ではなく今、目の前にいる患者様・利用者様

そして職員という心をもった人間です。そのためにも私自身もっと医療現場に熟知し、また「この業界しか知らない」医療・介護オタクではなく政治や経済など日々広く社会の動き情勢に敏感でいたいと思っています。

さて私が、事務部長をしている新中川病院は、通称ケアミックス病院と呼ばれ一般病棟と療養病棟の両方の機能を有しております。「救急病院でなく小児科や産科も標榜していない病院には、あまり関係のないことでは」と思われがちですが、当院も決して例外でなく国の医療費抑制政策の影響を受けております。主にご老人の方の長期入院を主軸としている当院ですが、昨年10月より厚労省通知により3B病棟(障害者施設等入院病棟)には、認知症の方と脳梗塞後遺症の方のご入院は、できなくなりました。また2A・2B(医療療養病棟)医療依存度が低い方は、事実上入院が厳しい状況となりました。(医師が、入院の必要性を感じても国が決めた診療報酬上、入院して頂くと病院側が赤字になるシステム)その他、これは以前からですが特別の理由がない限り180日を超える長期入院に対しては患者様に自己負担15%が、発生します。(選定療養費)

以上医療業界は、まさに国の医療政策という嵐の中で激変しております。しかし当院を利用して下さる患者様、利用者様には不安感を与えず今までと変わらぬ医療・介護サービスを受けて頂ければと思います。無論綺麗ごとだけでは、実現できないことは承知の上ですが、その為の努力は惜しまないつもりです。こんな病院の事務部長を私はめざしています。

第5回 合同看護師長研修会を開催！

- 全看護師長 目標管理を通して看護管理の実践をプレゼンテーション -

看護統括部長 永澤 直美

平成21年2月14日 看護師長合同研修会を開催しました。湘南泉病院の会議室には9時前から、湘南泉病院、新中川病院、横浜ほうゆう病院の看護師長14名が参集しました。

今年度は特に、20年度の目標管理実践のプレゼンテーションを全看護師長が行うことで会場には、緊張感がみなぎっていました。

はじめに、池島常務理事の講話「法人としての目標」が話され、3つの病院の21年度の課題について看護師長に期待するとのメッセージがありました。次に、鈴木看護部長の講義は「目標管理について」その定義、プロセス、フローシート、などの説明と実践していく上でのコミュニケーションについてや、キャリアファイルの活用法など具体的に示唆される内容でした。

続いて、14名の看護師長がパワーポイントを駆使しながら20年度に実践してきた、目標管理のアウトカムについて時間オーバーする人もあったりと、盛り上がりを見せました。

最後はグループワークで、疑問点などを明確にし、さらに平成21年度に向けての課題を確認してファシリテーターのまとめと各人の感想文を提出し、17時には終了しました。



【池島常務理事の講話】



【鈴木看護部長講義受講風景】



【中島師長プレゼンテーション】



【3つに分かれて熱心にグループワーク】

阿久和鳳荘
にて

看護学生 老健実習

相模原看護専門学校の実習生が2月23日から6日間、介護老人保健施設 阿久和鳳荘で実習を行いました。最初こそ戸惑いがみられ、なかなか上手くコミュニケーションがとれなかった5名でしたが、3日目のレクリエーションでは早くも利用者さんと一緒になり、楽しく触れ合っていました。今回の実習を通して、お年寄りに対する理解など将来きっと役に立つ体験ができたのではないかと思います。

